

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19.5～24℃台を示し、平年並の水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週の2.4倍（前年並み）。五島奈留地区では、ウルメなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の4倍（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の69%（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり101kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり約2トンの水揚げで前週の1.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり250kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり2.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり69kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり119kgの水揚げ。
- 一本釣――北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり48kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、アマダイなどが1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の29%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/9～11/14日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 1日1隻入港、総計50箱、ケンサキを中心に漁獲、魚体は2立半・3立。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第30-40号 11月の五島灘・対馬東水道の観測結果」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>